



いじめ防止 Book



年 組

名前

【目次】

- 1 無視～それは立派ないじめ～
- 2 差別
- 3 暴言で傷つく心
- 4 人を傷つけること
- 5 いじめによる無限ループ
- 6 誰かが手を差し伸べて
- 7 いじめを受けたときにすべきこと
- 8 過去に起きたいじめ
- 9 クイズ
- 10 いじめをして何が楽しい？

無視～それは立派な「いじめ」～

無視について

みなさん、「いじめ」にどのようなイメージを持っていますか。多くの人は暴力や暴言などが思いつくのではないのでしょうか。ですが、実は、**無視も立派ないじめ**です。

そして、無視の始まりは「差別」です。それにより、周りの人が悪口を言い合いながら遠ざかっていき、悪口を言われた人は助けを求めたり、協力できる仲間・友達がいなくなったりして、最終的に一人になってしまうのです。

さらに、悲しんだり、傷ついたりして、それが深刻になっていくと、**不登校**などになってしまう可能性があるのです。

無視することは今挙げた例だけではありません。日常的な会話・挨拶などの例も挙げられます。これだと無視された側の人と話さず相手がいなく、コミュニケーション能力も低くなってしまいます。もし、当たり前のように無視をしている人がいたら、それは「いじめている」ということです。当たり前のように無視している人は、無視された側の人のお気持ちを考えてください。

図1

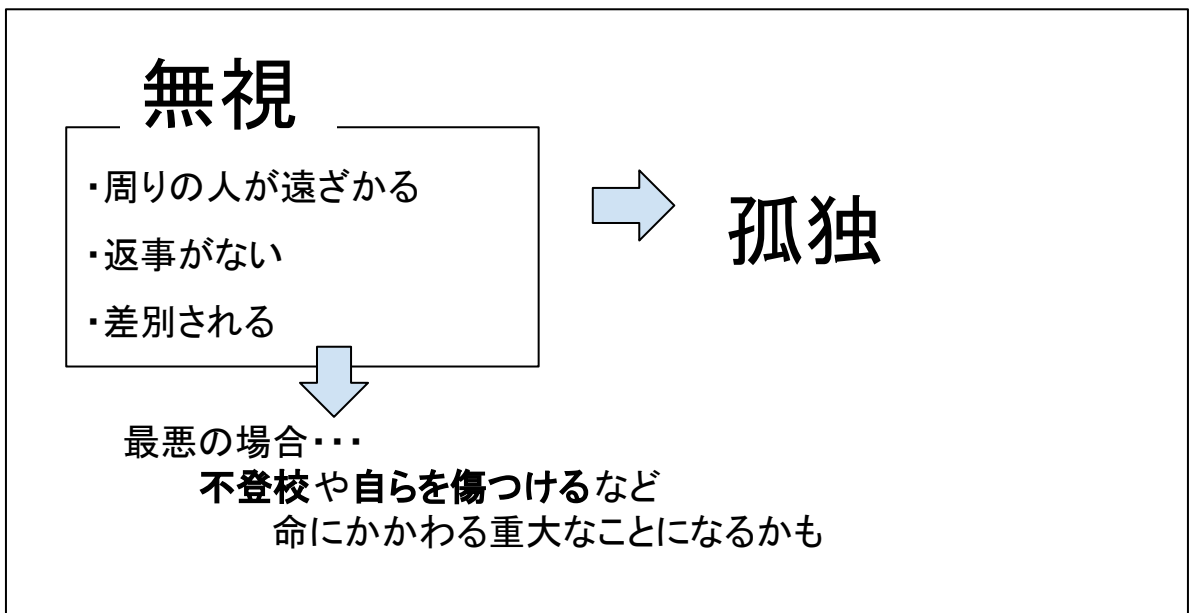


図2

	①挨拶	②会話
本来		
無視されている		

図1では無視の具体的内容として「遠ざかる」「返事がない」「差別」がありました。これらを自分がやられたとしたら、あなたはどう思いますか。大多数の人はマイナスな感情を抱くのではないのでしょうか。

図2では本来の接し方と無視をしているときの接し方両方を図で表しています。差別や無視をしているように見えます。このような接し方をしていると、されている側の方はどんどん悲しい気持ちになってしまいます。

お願い

私たちからのお願いです。もし、周りの人に無視をされてひとりぼっちになっている人を見かけたら、**見て見ぬふりをするのはやめてください**。見て見ぬふりをするのも「いじめている」と同じです。その場合はその人に声をかけ、助けてあげてください。そうすればいじめられていた人も「自分の味方してくれる人がいる」「守ってくれる人がいる」という安心感をもつことができます。ひとりぼっちになることはありません。

「いじめ」は「無視」だけではありません。「暴言」、「暴力」、「悪口」もいじめです。11月のふれあい月間中、いじめ防止キャンペーンが実施されます。そのときに周りの人たちと助け合い、協力し合いながら仲を深められたらいいなと思います。ふれあい月間以外でも「いじめ」をせず生徒間で仲を深めていってください。ご協力をよろしくお願いいたします。

差別

○そもそも差別とは？

人をマイナスイメージで判断して不当に扱ってしまうこと。

○差別はなぜ起きるのか？

主な原因は「偏見」

「普通」だったらこうだろう、「普通」ならそうはしない。そういった偏見や固定観念をもつ人達が、そこから外れた人を見つけたとき差別は起こります。

○差別はどうしたら無くせる？

偏見をもたずに生きる、ということはとても難しく、簡単にはできません。しかし違いを認め、尊重し合えば差別は起こりません。**相手を認める広い心**をもちましょう。

ネットでのいじめ

○ネットでのいじめの例

InstagramやLINEなどで他人の悪口や嘘の情報を拡散するなどネット上で相手を傷つけることをすれば、それは立派ないじめです。

SNSはたくさんの人が簡単に見ることができます。また、一度SNSに投稿したものを完全に消去することは難しいです。SNSで何かを投稿する際は、今後に与える影響を考えて行うようにしましょう。

暴言で傷つく心

○暴言

いじめは最も悪質で狡猾こうかつ(ずるく悪賢いこと)です。そのいじめの中でも ”暴言”は精神的に大きなダメージを与えています。言葉が持つ力は私たちが思っているより、はるかに強いのです。

〈主な例〉

- ・(相手に対して)△△じゃん
- ・あんたのこと、友だちだと思ってないから
- ・〇〇さん、あなたの悪口言ってたよ～ など

何も考えずに言ってしまう言葉も、人を傷つける立派で鋭利な凶器になってしまいます。この言葉だけでは小さな傷ができるだけかもしれません。しかし、この傷は心に深く刺さり、確実に残っていくのです。

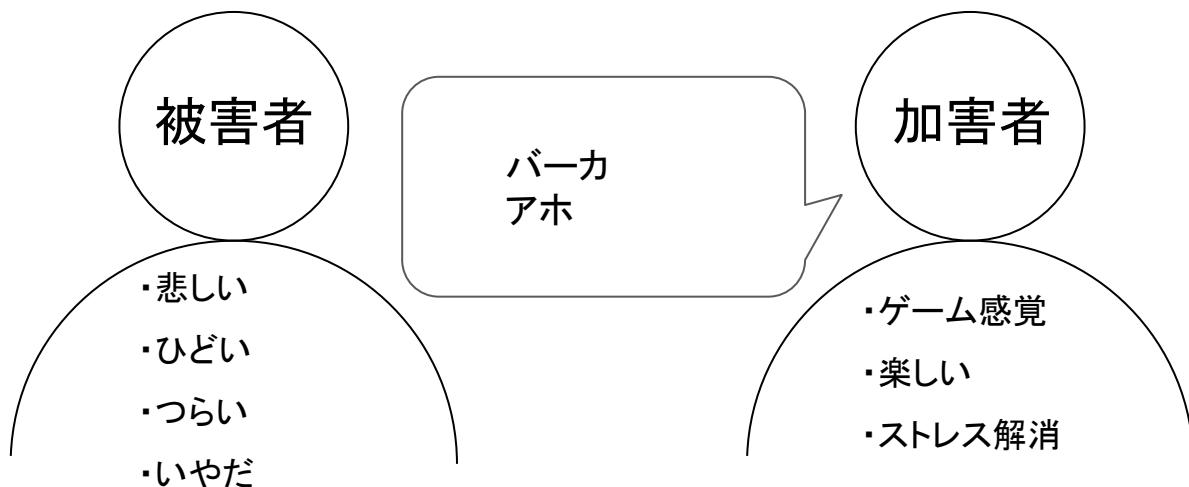
”いじめはあなたが思うよりも遥はるかに多くのダメージを与える”

by タイ・ハワード

上記のように考えると、いじめの悪質さ・狡猾こうかつさが分かりませんか？

～いじめの被害者、加害者の気持ち～

これを見て、あなたはどのように思いますか？



暴言を言う人は、相手に対して常に勝つか負けるかを意識しています。

いじめ(暴言)は犯罪??

- ・名誉棄損罪
 - ・傷害罪
 - ・侮辱罪
- などの罪に問われることがあります。

上のように、「暴言」とは口で行う暴行であり、簡単に人を傷つけることができます。このことをよく考え、言葉を選びコミュニケーションをとることが大切です。



引用：栃木県いじめ防止ロゴマーク

人を傷つけること

暴力とは...

暴力とは(乱暴にふるう力、無法な力など)相手を傷つけてしまう行動です。

テレビや新聞から伝えられている、いじめ問題。暴力が関わるいじめも一度は目にしたことがあるはずです。そんなとき、あなたならその現実をどのように受け止めますか?「自分には関係ないこと」「自分にはありえないこと」そんな風に流してはいませんか?もし、自分が被害者の立場だったら…。または第三者という立場だったら…。どう思うのか、どう感じるのかを考えることが暴力などを含むいじめを減らす第一歩です。



いじめによって起こる犯罪

・暴行罪

友人が第三者からいじめによる暴力を受けた場合、その第三者には、暴行罪が成立します。

・傷害罪

暴力により友人がケガをすれば、傷害罪が成立します。また、実際に体に傷がつかなくとも、心に傷がついた場合も傷害罪が成立します。さらに、第三者による、友人の机やカバンを隠すという嫌がらせ行為がくり返し何回もなされた場合で、それによって友人がノイローゼなどになった場合でも、傷害罪が成立することもあります。

・窃盗罪

友人のカバンの中にある金銭・物品を窃盗する目的であった場合で、実際に金銭を窃盗した場合は、窃盗罪が成立します。

・器物損壊罪

第三者があなたの友人のカバンや学用品を壊したり隠したりする行為は、友人を困らせる目的であったとすれば、器物損壊罪が成立します。

警察に被害届や告訴状を提出して、暴行の状態やケガの程度、被害金額や犯人像、その行為の悪質性、反復継続されている事実などを説明すれば、警察も暴行罪や傷害罪、器物損害罪や窃盗罪として取り扱っています。

ただし、刑法上、「14歳に満たない者の行為は、罰しない。」とされているため、犯人を窃盗罪や傷害罪などに問うためには、14歳以上であることが必要です。だからといって、何をやってもいいとは限りません。相手のことを理解して行動することが大切です。

いじめの多い時期

いじめは、起きやすい環境と起きにくい環境があります。「いじめの認知件数の割合は高校より中学校、中学校より小学校の方が高い」ことが明らかになっており、学年が進むにつれ、徐々に減少していくことがわかります。



その一方で、認知件数のピークが中学1、2年の時期にあることがわかります。これは、学校側が「いじめと認識しやすい」ために数字があがるということが考えられます。特に、中学生男子のいじめは、小学校と比べて「^{ひんぱんか}頻繁化・長期化」しやすい、すなわち「深刻化」しやすいことが指摘されています。頻繁化・長期化すればするほど、被害生徒の辛さが大きくなってしまいます。これは、絶対にあってはいけないことです。互いに意識し合うことを心がけましょう。

暴力のない状態

安心して集団行動をする上でルールや決まりというものは、欠かせません。どんな社会もルールを守っていかないと争い事が起こってしまうからです。

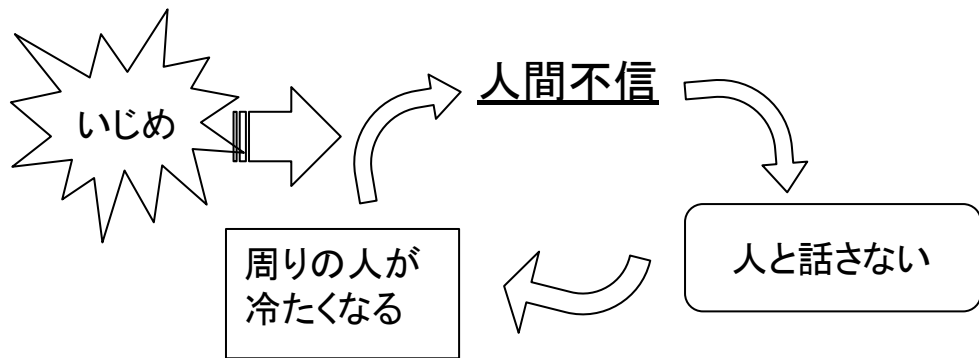
スポーツをするにもルールがあります。「なぜ人を傷つけちゃいけないの？」「暴力をしちゃいけないの？」という疑問は例えるなら「なぜルールを守らなければいけないの？」と同じことになります。車のある社会でも免許を持っていないと走ることはできません。スピード違反だって許されませんし、法律違反がたくさんあると車社会は成り立ちません。それと同じことなのです。

人間として生きる以上、最低限のルールは守らないといけません。全ての学校で暴力がなくなる学校生活を築いていきましょう。

いじめによる無限ループ

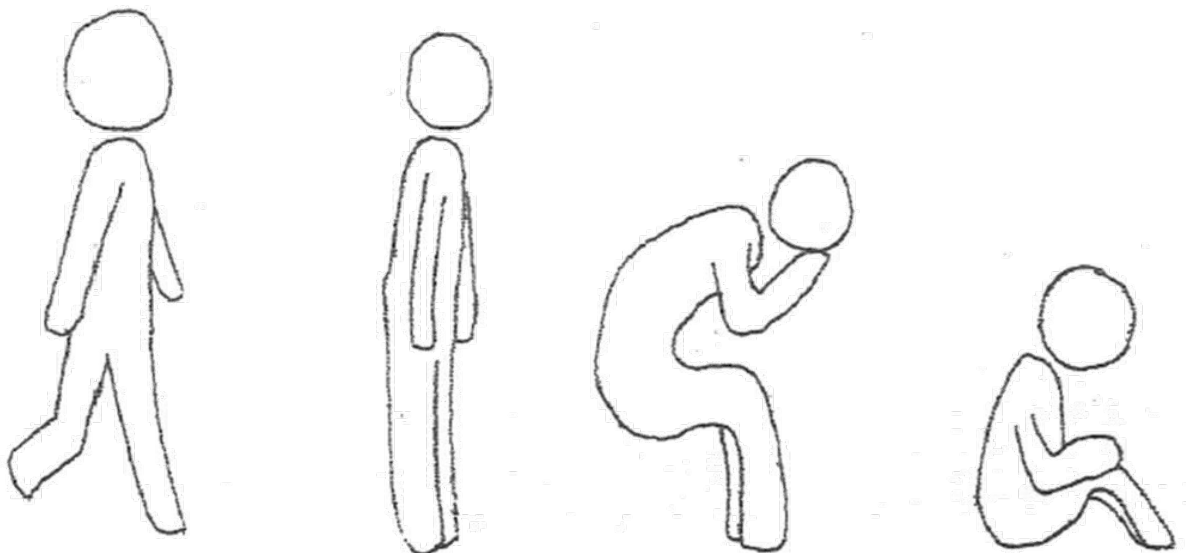
みなさんは「いじめ」についてどのように考えていますか。「ただいじっているだけ」「こんなことで私は傷つかない」などと思っていないですか。人はそれぞれ感じ方が違います。相手が「つらい、嫌だ」と思ったら、それは立派な「いじめ」なのです。

いじめは一度されると...



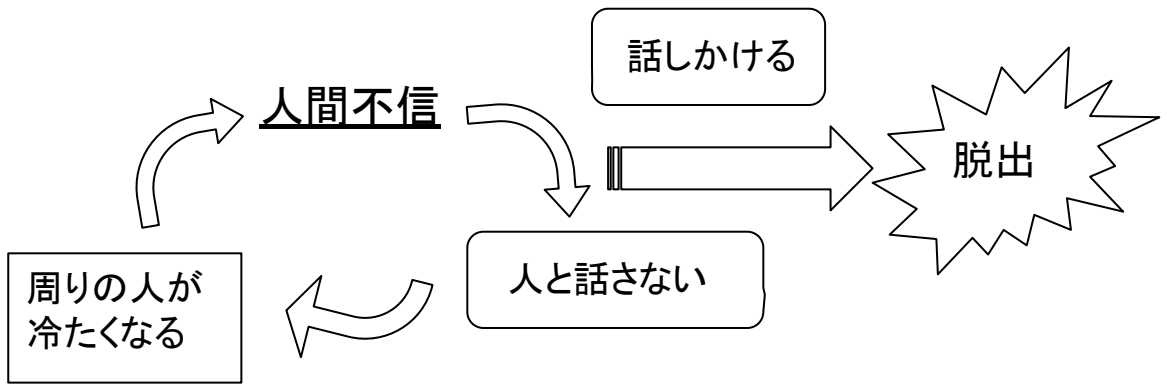
上の図のような無限ループにはまってしまう。こうなってしまうといじめられている人はとても「つらい」気持ちになってしまいます。みなさん、想像してみてください。始めは普通に話していた友だちが徐々に冷たくなり、暴言や暴力などをしてきます。そしてそれが周りの人たちにも伝わっていき、集団でいじめられるようになります。どうですか。「つらい」と思いませんか。「学校に行きたくない」とそう思いませんか。これが無限ループの入口なのです。

現在、いじめはなくなるどころか、どんどん内容がエスカレートしており、無限ループにはまってしまった人が自ら命を絶ってしまうというケースも増えているようです。

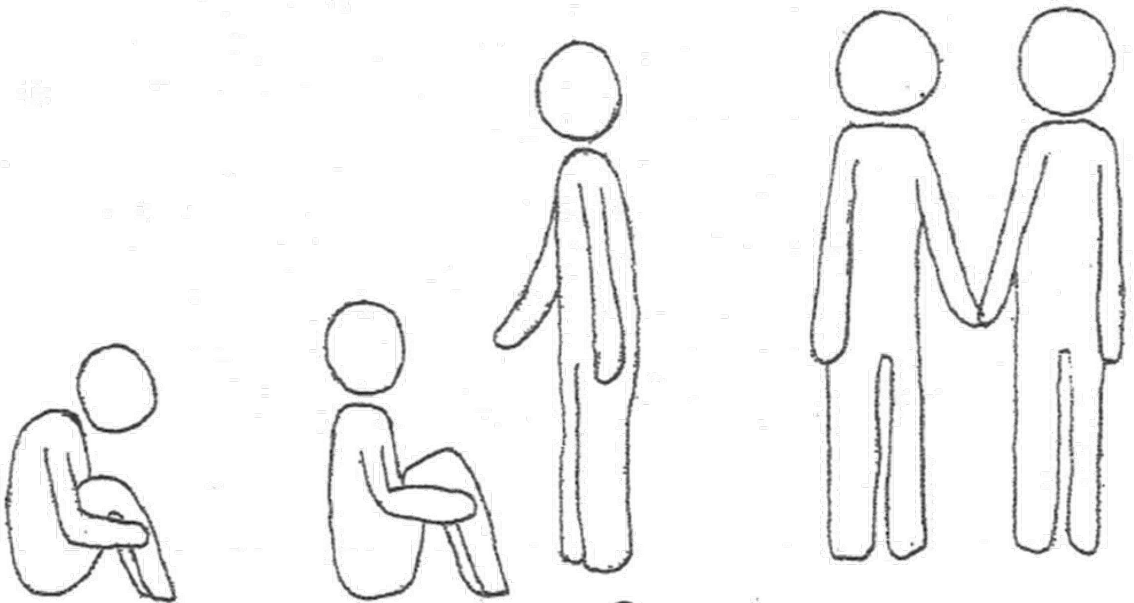


誰かが手を差し伸べて

前ページで説明した、いじめによる無限ループは「話し相手」ができることで脱出できるのではないかと、私たちは思います。人と話すことが怖いというときに親身に話を聞いてくれる人が一人でもいれば心が楽になる可能性もあります。無限ループから自分一人で脱出するのは少し難しいかもしれませんが、しかし誰かが手を差し伸べてあげることで、無限ループから脱出することができるのです。



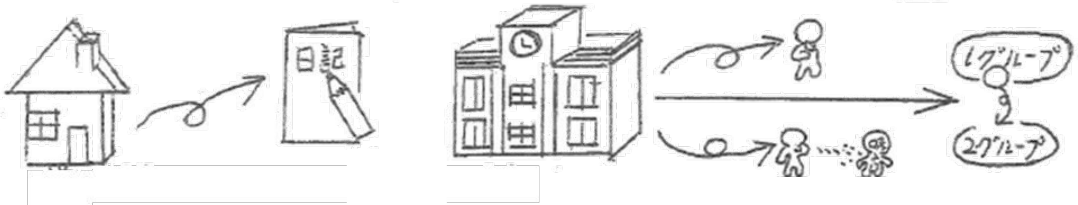
中には自分もいじめられるかもしれないと思っている人がいるかもしれません。確かにそのような状況になってしまうかもしれません。しかし、あなたに助けられた人はあなたに味方してくれるはずですし、あなたの勇気ある行動に心を動かされる人もきっといるはずです。「誰かの力がないと無限ループからの脱出は難しい」ということを覚えていてほしいです。



いじめの対策

家でする対策

家でする対策として挙げられるのは、「記録をつけること」です。例えば日記をつけて、いじめられたことやその内容を書き留めます。たったこれをするだけで、いじめられている側が有利になることができます。なぜなら、いじめられた内容を明確にしているのです。相手が悪いことがすぐに分かります。また、相手に言われたことを書いていけば「ならこうすればいいんじゃないか」と考えることができ、いじめられる理由がなくなってきます。いざとなったら先生にその日記を見せることができます。そうすれば先生はきっと気持ちを理解してくれます。いじめられたときに大切なのは、「誰でもいいから相談をする。自分のいいところと悪いところを理解すること」です。そのどちらにも有力な材料になる記録はとても大切なのです。



学校でする対策

学校でする対策として挙げられることは主に3つあります。1つ目は「まず原因を考えて謝ること」です。意見が食い違ってケンカになりそうなときも、言い合いをしてケンカからいじめに発展するよりも謝って元通りになることを目指しましょう。2つ目は「他のグループに入ること」です。いじめてくる人と仲良くしようとするほど相手は離れていく場合があります。それなら、クラスに役立つことをして他のグループに入るのがいいでしょう。また、クラスに役立つことをすれば、クラスの人々はあなたをいい人と思っています。そう思ってくれた人を味方につけましょう。3つ目は「味方になってくれる人を探すこと」です。自分が信頼・信用している人の性格を考えてみてください。きっと周りに合わせる人があっても、しっかりと自分の意見をもっていると思います。そのような人をクラスの中で見つけ、味方につければ、だんだんクラスの考えは変わっていきます。まずは、あなたのクラスに落ちついてみんなから一目おかれている人を探してみましょう。きっとその人は、周りに振り回されず、自分で考え行動できる人です。

いじめを受けたときにすべきこと

いじめを受けたときにすべきことは主に2つあります。

1つ目は「相談すること・溜め込まないこと」です。気軽に相談できる友人や家族、先生たちに必ず相談するようにしましょう。そうすれば、必ず味方になって助けてくれる人はいます。ためらう必要は一切ありません。必ず、相談しましょう。また、嫌がらせを受けたときは、ためらわずに相談をしましょう。

また、どうしても相談できない場合は、いじめ・学校生活・家族・友人関係などについて相談できる **東京都いじめ相談ホットライン** に相談をしましょう。電話番号は、**0120-53-8288**です。何か悩んでいる場合は、気軽に相談してみてください。

2つ目は「意思表示をしっかりとすること」です。自分をいじめている人に「自分は嫌だ。やめてほしい」ということをしっかりと意思表示をすることが大切です。嫌だということを伝えたら、いじめている側がやめてくれるかもしれません。

一人で意思表示ができない場合は、頼れる友達と一緒に意思を伝えるのも一つの手です。意思表示の仕方が分からない場合は、スクールカウンセラーの先生に相談してみてもいいと思います。ここで重要なのは、意思表示をすることなので、勇気を出して意思表示をしてみてください。



子ども相談アプリ ねりまホッとアプリ+



過去に起きたいじめ



これからみなさんが読む話は過去に本当にあったいじめです。あなたはこの話を読んでどう思うでしょうか。

<大津市中2いじめ事件>

被害者・男子中学生 加害者・A、B、C、D、E、F

__発端はプロレスごっこ__

Bと被害者はプロレスごっことして、肩に手を乗せていましたが徐々に仰向けやうつ伏せ状態で遊んでいました。Bは被害者を押さえつけ、腹を殴り、「やり返してこい！」などと言いましたが被害者はやり返すことはありませんでした。10分の休み時間には、被害者のメガネを隠したり、振り回したりしました。

この行為はほぼ毎日、1日に2回も行われ、その他には暴言・殴られる・物を壊されたり破られたりするといった被害もありました。ときには、馬乗りになされ、顔を殴られることや自殺の練習もさせられました。しかし、このような行為に周囲も気づいていましたがそのままスルーされ、担任の先生も止めることはありませんでした。

その後、被害者は加害者のCとDに自分の部屋を荒らされ、財布も盗まれてしまいました。被害者は友達に「どうすれば学校休めると思う？」と聞いていたことがあるらしく、元気がなくなっていきました。ですがその2日後、被害者は自宅マンションの14階から飛び降り、自殺をしてしまいました。

学校側は原因究明のため全校生徒860人を対象にアンケートを実施しましたが、加害者とされる生徒は「死んでくれて嬉しい」、「死んだって聞いて笑った」と記載していました。

☆この話は2011年ごろ滋賀県大津市で起きたいじめです。最初は被害者も加害者も遊び半分でやっていましたが、それがエスカレートし、被害者は自殺してしまったのです。確かに加害者も自殺までに及ぶようないじめをしたのは悪いですが周囲の人や友達、先生もこのいじめに気づいていたのにもかかわらず止めたり注意することすらありませんでした。もし、注意していれば被害者の自殺はなかったかもしれません。

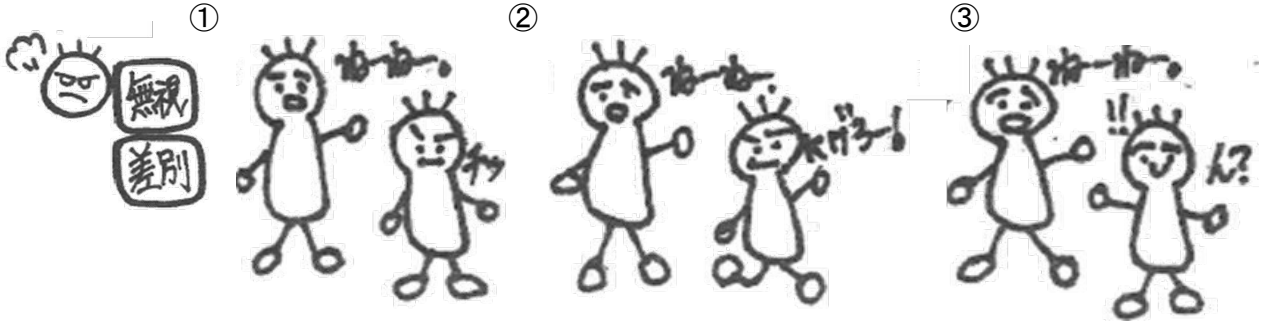
みなさんの周りにはいじめられたりしている人はいませんか？自分じゃ注意できないと思ったら先生や友達に伝えたりしましょう。あなたのひとつの行動でその人の命にも関わってきます。

Quiz



LEVEL1 この中で無視によるいじめに当てはまるものは？

※当てはまるものをすべて選びなさい。



LEVEL2 空欄に当てはまる言葉を次の語群から選びなさい。

ヒント ↓



- ・言葉
- ・暴言
- ・傷つける
- ・悪質
- ・態度
- ・暴力
- ・巧妙
- ・日常

_____や_____によって人を_____。

その見えない_____は_____的に使われている。

LEVEL3 いじめのピークをむかえるのはいつ？

※当てはまるものをすべて選びなさい。



- ① 中学1年生 ② 中学2年生 ③ 中学3年生

__ANSER__

LEVEL1 ①、②

LEVEL2 言葉や態度によって人を傷つける。

その見えない暴力は日常的に使われている。

LEVEL3 ①、②

いじめをして何が楽しい？

みなさんは、いじめをする人がどういった気持ちでいじめているのか分かりますか？私たちは、「ただ単に嫌い」、「友達との関わりの延長線上」だと思います。ここで質問ですが、いじめをしてメリットはありますか？いじめをした側は、直後は気持ちが良いかもしれませんが、ストレスが溜まるとまたいじめをする、この繰り返りで負の連鎖に陥ってしまいます。いじめをされた方は、誰にも分からないような悲しさ・孤独さを感じます。いじめを防止するために、日頃から言葉や態度、表情などに気をつけてください。



～令和5年度 田柄中学校生徒会本部～